



参加費  
無 料  
定員 340 名

公開シンポジウム

# 航空宇宙、船舶海洋分野における 研究開発と利用応用の 橋渡しとバランス ～双方向の流れをめざして～

基調講演登壇者

家 泰弘（日本学術会議）、久間 和生（内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員）、西本 淳哉（内閣府宇宙戦略室）、  
長田 太（内閣官房総合海洋政策本部）、未定（文部科学省）、奥村 直樹（独立行政法人宇宙航空研究開発機構）、  
平 朝彦（独立行政法人海洋研究開発機構）

日 時

2014年 6 月27日（金）  
9：30～17：30（開場 9：00）

場 所

日本学術会議 講堂  
東京都港区六本木 7-22-34  
TEL：03-3403-3793

主 催

日本学術会議総合工学委員会フロンティア  
人工物分科会

後 援

一般社団法人日本航空宇宙工業会、独立行政法人宇宙航空研究  
開発機構、独立行政法人海洋研究開発機構、一般社団法人日本  
リモートセンシング学会、日本海洋学会、一般財団法人日本宇宙フ  
ォーラム、一般社団法人日本航空宇宙学会、公益社団法人日本  
航海学会、公益社団法人日本船舶海洋工学会



東京外口千代田線乃木坂駅5番出口1分

お問い合わせ

公開シンポジウム事務局 担当：安田

TEL：050-3362-3960 FAX：042-759-8322 E-mail：FRONTIER@jaxa.jp  
宇宙航空研究開発機構（JAXA）シニアフェロー室

公式サイトからのお申込み  
<http://www.jaxa-sf.jp>





## 開催趣旨

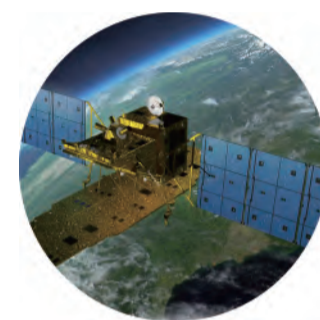
研究開発と利用応用間を橋渡し、バランスをはかることは、航空宇宙や船舶海洋分野をはじめ、例えば、天文台、原子力、加速器など様々なビッグサイエンスの領域において共通する課題である。言うまでもなく、双方向の流れをつくることは、行政側からの重要な視点でもある。利用応用は、産業・経済への成果の展開以外にも、いわゆる施設として、あるいは観測手段を構築して成される科学観測、科学実験を指す面がある。これは、研究開発と呼称される領域を、シャープに理学と読むか、科学技術と読むかの違いにも起因するところで、フロンティア人工物分科会では、理学面の学術活動の発展・増進をめざし、地球惑星科学委員会とも連携して活動してきたところである。とくに航空宇宙および船舶海洋分野においては、この狭義、広義両面での橋渡しとバランスへの取り組み方が議論されるべきキーポイントである。

本シンポジウムでは、上述の観点について、関連分野を代表する講演者の方々をお迎えし、また、いくつかのテーマ毎のセッションをオーガナイズして、ご意見を発表いただき、それらの要旨を、前期に出されたフロンティア人工物分科会からの提言の改訂版に反映させることを目的とする。

## プログラム

### ○基調講演 9:30～11:50

1. 家 泰弘（日本学術会議 副会長）
2. 久間 和生（内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員）
3. 西本 淳哉（内閣府宇宙戦略室室長）
4. 長田 太（内閣官房総合海洋政策本部事務局長）
5. 未 定（文部科学省）
6. 奥村 直樹（独立行政法人宇宙航空研究開発機構理事長）
7. 平 朝彦（日本学術会議連携会員、独立行政法人海洋研究開発機構理事長）



### ○一般講演 13:00～15:30

8. 「独法での産業応用利用実例」  
藤井 孝藏（独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系教授）
9. 「海洋分野における研究開発成果とその産業利用」  
中原 裕幸（海洋産業研究会常務理事）
10. 「大学での産業応用利用実例」  
塚本 尚義（日本学術会議連携会員、北海道大学大学院理学研究院教授）
11. 「独法での取り組みとバランスに関する考え方」  
中橋 和博（独立行政法人宇宙航空研究開発機構理事）
12. 「大学での取り組みとバランスに関する考え方」  
佐宗 章弘（名古屋大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻）
13. 「大学での取り組みとバランスに関する考え方」  
牛尾 知雄（大阪大学工学部准教授）
14. 「ビッグサイエンスにおける国際協力の経験と課題」  
今村 努（独立行政法人海洋研究開発機構特任参事）
15. 「産学官連携のあり方 (Spin in vs Spin off)」  
小川 眞司（独立行政法人宇宙航空研究開発機構新事業促進センター長）
16. 「文系研究者による貢献の可能性」  
中谷 和弘（東京大学大学院法学政治学研究科教授）
17. 「ILC 加速器における国際協力」  
（未定）



### ○一般講演 / パネルディスカッション 15:45～17:30

モデレータ：川口 淳一郎（日本学術会議会員、独立行政法人宇宙航空研究開発機構シニアフェロー 教授）